

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 国際社会	国際関係論	井上尹	1年次	春

授業のキーワード	「政治、経済、宗教、民族から解き明かす国際関係」
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	現代世界の動向を3つのキーワードから解き明かします。それは、グローバリズム、リージョナリズム、ナショナリズムです。その中に政治問題、経済問題、宗教問題、民族問題が複雑に絡んでいます。その糸をひとつひとつ解きほぐすことが目標です。
履修のアドバイス・ 前提科目等	現代世界をどのように捉えるか、その認識の仕方、ものの見方が養成されます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	現代の国際状況	「グローバリズム、リージョナリズム、ナショナリズムという三つのベクトルが現代世界の動向を握っています。」	第9講	世界の紛争(その2)	「世界の紛争原因を6つに分類して実例を挙げて解説します。政治制度、歴史、資源開発」
第2講	グローバリズム	「イデオロギー闘争からウエルネス・ゲーム時代へ移行し、地球は日々狭くなっています。同時に世界共通の問題も生じました。」	第10講	世界四大宗教(その1)	「ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教について、経典とその内容、信じる神、成立年号、聖徒等について比較します。」
第3講	理論と国際関係	「現代世界をどのように捉え、理解するのか。現実主義者、多元主義者、グローバリストの理論を紹介します。」	第11講	世界四大宗教(その2)	「ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、仏教について、シンボル、聖職者、救済、天国、地獄等について比較します。」
第4講	リージョナリズム	「第二次世界大戦後の世界は、それ以前とは異なるリージョナリズムが生じました。地域組織が世界各地で誕生しています。」	第12講	アメリカの戦略と日本の安全保障(その1)	「ブッシュ政権の先制攻撃論、ユニラテラリズム、前方プレゼンス、トランスフォーメーションの意味、役割、目標を説明します。」
第5講	EUとAPEC	「リージョナリズムの代表は、西のEU(ヨーロッパ連合)、東のAPEC(アジア太平洋経済協力会議)です。」	第13講	アメリカの戦略と日本の安全保障(その2)	「アメリカの戦略の中の北東アジアの安全保障を考えます。」
第6講	ナショナリズム	「ナショナリズムは政治的意味、文化的意味を含有しています。そこから民族争い、移民排斥などが起こっています。」	第14講	日本の経済協力とPKO	「日本の経済協力、特にODA(政府経済開発援助)およびPKO(平和維持協力)の現状と課題を考えます。」
第7講	日本のナショナリズム	柳田国男、佐野實治の考え方、丸山真男、京極純一の政治文化論を紹介し、明治期に形成された神統と国家統一について考えます。」	第15講	定期試験	
第8講	世界の紛争(その1)	「世界の紛争原因を6つに分類して実例を挙げて解説します。宗教、民族、国境」	評価方法		定期試験
備考 (関連する資格・試験等)		「現代国際事情」では、現代の動きを解説しますが、「国際関係論」では、それらがどのようなベクトルの中にあり、どのように分析、理解するかその方法を提供します。これを元にさらに専門分野に進んでほしい。			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
なし			その都度紹介します		